

(3) 入田・上八万地域

徳島市の西部に位置する当地域は、東龍王山、西龍王山、辰ケ山、眉山などの山地が大半を占め、鮎喰川や園瀬川が流れる谷底低地では、水田や畑がみられます。入田地区は、農業のほか、植木や盆栽などの生産販売が中心産業となっています。一方、上八万地区は、もともと農業地域で、山の陰地を利用したシイタケ栽培などでよく知られています。大規模な住宅団地が整備されていますが、近年は徳島南環状線が整備中で、交通の利便性がより高まることが考えられます。

植生は、コナラ群落、アカマツ群落が主になっており、森林性のミヤマクワガタなどの昆虫類やキビタキなどの鳥類、テンなどの哺乳類、カスミサンショウウオなどの両性類が生息しています。一方、鮎喰川には、河川敷に広い玉石河原や草地、河畔林が見られ、水域には清流にすむアカザなどの魚類やカワニナなどの底生動物が生息しています。また、玉石河原には、カワラヨモギなどの植物が生息し、イカルチドリやカワラヒワなどの鳥類、カワラバッタなどの昆虫類など、その特有の環境を好む生物が生息しています。このほか、園瀬川は植生の豊かな川で、河川敷にはメハジキなどの植物がみられます。



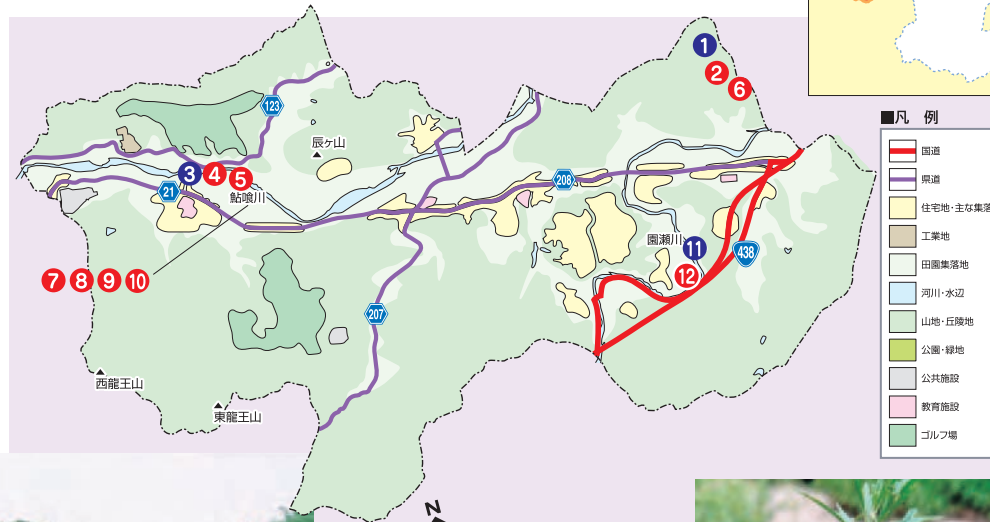
1 眉山のコナラ林



2 広葉樹林に生息する森林性のミヤマクワガタ



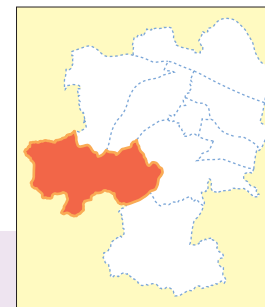
11 植生豊かな園瀬川



0 200 1000 2000m



6 山地から低山地に生息するカスミサンショウウオ



3 玉石河原や草地在る鮎喰川



4 清流にすむアカザ



5 ホタルの幼虫のエサになるカワニナ



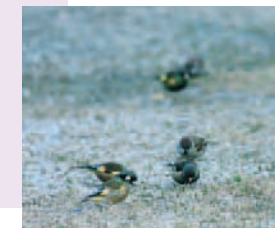
7 玉石河原に生育するカワラヨモギ



8 玉石河原を好んで生息するイカルチドリ



12 赤紫色の美しい花を咲かすメハジキ



9 農耕地周辺で生活するカワラヒワ



10 玉石河原に生息するカワラバッタ